

平成 28 年度第 2 回二宮町総合教育会議 会議要旨

開催日時	平成 28 年 8 月 26 日 金曜日 13 時 30 分から 15 時 15 分まで
開催場所	二宮町役場 2 階 第一会議室
出席者	村田邦子町長、府川陽一教育長、山内みどり教育長職務代理、蓮實茂夫教育委員、原道子教育委員
町部局	政策担当参事兼企画政策課長
事務局	教育部長、教育総務課長、生涯学習課長、教育総務班長
その他	傍聴 3 人

※会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

会議録

(教育部長) 13 時 30 分定刻となりました。ただいまから、平成 28 年度第 2 回二宮町総合教育会議を開催いたします。

開会にあたりまして、まず初めに、本会議の公開、傍聴についてお諮りさせていただきます。本会議は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第一条の四に基づいて開催いたしました。この条文の中では、「総合教育会議は、公開する。」とあります。本日は、傍聴希望の方がいらっしゃいますことから、まず、このことについて、公開、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

－傍聴について許可－

(教育部長) では、許可をいただきましたので、傍聴の方をご案内させていただきます。

－傍聴者 3 人が入室し、資料を配布。－

(教育部長) 傍聴の方が全員入室されましたので、再開いたします。それでは、次第の 2、町長挨拶です。村田町長、お願いいたします。

(町長) みなさん、こんにちは。本日は暑い中、お集まりいただきありがとうございます。様々なところで二宮町の出来事を報告するようにしていますが、最近あったことでみなさんにお知らせしたいことがあります。まず一つ目は神奈川県商工会青年部の弁論大会で二宮町商工会青年部の宮戸淳さんが優勝

され、これから関東ブロック大会に出場をされます。二つ目は二宮町の消防署の職員が神奈川県の匍匐前進の競技大会で見事優勝しました。昨日 24 日に神奈川県代表として全国大会があり出場しました。51 チーム中 14 番目という成績で帰ってきました。このように今、二宮町の若い方が力を発揮され、元気に活躍をされています。本日はよろしく申し上げます。

(教育部長) ありがとうございます。それでは、次第の 3 協議・調整事項となりますが、ここからは総合教育会議設置要綱第 4 条により村田町長が議長になりますことから、会議の進行をお願いしたいと思います。

(町長) それでは、要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

では、協議・調整事項の (1) 一色小学校区地域再生の取り組みについて、ということで政策担当参事兼企画政策課長より説明をお願いします。

— 政策担当参事兼企画政策課長より説明。 —

(町長) 今、担当より地域再生事業の取り組みについてこれまでやってきたことと今後の予定の報告がありましたが、みなさんから質問等ありますか。

(山内委員) 前回の総合教育会議の地域再生事業の中に学校がどのような形で取り込まれていくのかということについてお聞きしましたが、先ほどの説明の中で特に子ども食堂と友情の山部会の取り組みについて期待をしています。子ども食堂については町外の他の場所でも取り組みが進められているようなのですがこの取り組みの内容についてももう少し詳細を教えてくださいませんか。

(志賀参事) 子ども食堂については現在、部会内で今後、取組んでいきたいという意見が上がっているところで、例えば一色小学校区の取組みなので地元の農家の方から食材を調達するなどが考えられます。具体的には今後、検討を進めていくところです。

(山内委員) 子ども食堂については期待をしています。東京都内でも子ども食堂といわれている場所がありますが、単に食べるものを提供するというだけのものではなく、例えば夏休み中に子ども達がお弁当を持ち寄って一緒に食べる、コミュニケーションをとるといった交流の場としての役割もあると思います。私自身も夏休み中に自身の教え子たちを自宅に招いて一室を開放し、食べるも

のを持ち寄ってということをしたことがあります。子ども達はもとより保護者の評判もとても良かったです。この取組みを是非、具体化していただきたいと思います。

(町長) 部会でも誰が運営に携わっていくか具体的な話はまだこれからですが、県住宅供給公社が場所をつくるということは決まっています。調理をする場所、食べる場所というのはできるので、あとはどのように運営をしていくかということだと思います。携わる方の都合もありますし、なるべく負担にならぬよう、今後検討をされていくのだと思います。

(山内委員) 例えばこのような取組みに対して意見を提案することはできるのでしょうか。

(志賀参事) この取組み自体は地区の方々が主体となる取組みなので、そこに参画をしていただくようなイメージになるのかなと考えています。子ども食堂の場所は地区の方々だけが利用するというものではなく、他地区の方も利用できるものなので何か良いアイデアがありましたら教えていただければと思います。また部会への参加という意味では、現在、町の広報などで募集をしています。ただ活動自体がまだ浸透していないところがあるので、人が思うように集まらない状況です。

(原委員) 是非、色々な意見を集めていただきたいと思います。この場所がただ単に食事をとるだけの場所ではなく、様々な可能性を持っているものなのではないかと考えます。私が学校に勤めていた時に、例えば夏休みには給食がないので栄養も偏ってしまう家庭もあったため、そのような子ども達を学校へ連れてきて、日直の先生方に協力をしてもらい、料理教室を開くという取組みをしたことがありました。子ども自身が栄養のある食事を作るという能力を伸ばすことにもなります。子ども達もとても喜んでいました。このように子ども達の社会性を育むような場としての活用も考えられるのではないかと思います。

(教育長) 現在でも生涯学習課の事業で親と子の料理教室などを開催しています。例えば町の事業を子ども食堂の場所を借りて実施することを考えても良いのではないかと思います。

(志賀参事) 子ども食堂の場所となるところが少し手狭なところなので、スペースの問題をクリアできれば、利用することは可能だと思います。親と子の料

理教室は保健センターで開かれていたと思いますが、場所を変えることで新たな視点が生まれることもあると思うので面白い試みではないかと思います。

(町長) 子ども食堂の取組みは、県住宅供給公社とも話をしており運営についてはまだこれから検討をしていくという段階です。取組み状況についてはみなさんにも情報を伝えていきたいと思います。これとは別に地域再生事業の取組みとしては、音楽祭など文化的な事業が10月以降に予定しています。

(原委員) 友情の山部会についてですが、山百合を見にいかせていただきました。山百合はとても綺麗で部会のみなさんは、こられた方にとっても親切に対応をされていました。山百合だけでなく、山の上には小学校の子ども達の菜園、桜や梅の木があるので、そこまで案内をされていらっしゃいました。菜園などは学校の先生や子ども達の自習の時間の中で整備をしているのですが、友情の山部会の方々にも手伝ってもらえるなどの取組みができれば良いなと思います。

(町長) 学校と地域という関係の取組みという点では、コミュニティ・スクールにも繋がってくるのかなと思います。それでは続いて議題2のコミュニティ・スクールに移りたいと思います。事務局の方から説明をお願いします。

— 教育総務課長より、資料2に基づいて説明。 —

(町長) 事務局からこれまでのコミュニティ・スクールへの取組み状況と今後の予定について説明がありましたが、委員のみなさんから何かご意見はございますか。

(蓮實委員) 議題1に関連する内容なのですが、10月以降も再生協議会での様々なイベントが予定されているとのことですが、今後、コミュニティ・スクールとも関連がでてくると思います。是非、再生協議会の活動がコミュニティ・スクールへの橋渡しになるように町としても協議会に働きかけをしていただきたいと考えています。

(志賀参事) 再生協議会の活動の中で特に学校に関連する内容については、教育委員会へ情報提供をさせていただき、方向性を確認しながら進めていきたいと考えています。

(町長) 再生協議会の活動も今年度、秋以降に予定しているイベントがありま

すが、これらのイベントが終わり、少し落ち着いてくれば来年度の活動内容についても具体的な検討をしていくことになると思いますので、コミュニティ・スクールに関連する活動の話などもでてくるのではないかと思います。

(山内委員) コミュニティ・スクール準備委員会についてですが、この会議は傍聴はできるのでしょうか。

(黒石課長) 傍聴をしていただくことは可能です。先日、1回目の準備委員会が開催されたのですが、事前の広報が不十分であったため、2回目の会議の際には事前に周知ができるよう準備していきたいと考えています。

(山内委員) コミュニティ・スクールについては、現在、一色小学校をモデルに導入の検討をしているところですが、この取組みを一色小学校の学区の地域の方々だけでなく、多くの町民の方に知っていただきたいと思っています。今後、他の学校へも導入が進められていくわけですから、このタイミングで多くの方に理解していただくことで、他の学校へのスムーズな導入に繋がるのではないかと思います。また時期を同じくして地域再生協議会の活動があるわけですから、是非、町としても協議会の活動を通じて学校やコミュニティ・スクール導入へ強力にバックアップをしていただきたいと強く願っています。また今後予定されているコミュニティ・スクール準備委員会の研修会は門戸を広くしていただき、様々な方々が参加できるようにしていただきたいと思っています。

(町長) コミュニティ・スクールの導入検討と一色小学校区地域再生協議会はほぼ同時期に活動をはじめていますが、再生協議会の活動は地域再生ということがコンセプトになっています。ただし、最終的に目標とするところは、子どもたちのためのより良い環境づくりを整備していくことなのではないかと考えています。現在は大人向けのイベントなどが主なものとなっていますが、今後はより子どもたちに直接関連した取組みがでてくるかと思っていますので、教育委員のみなさんにもご意見をいただきながら、様々な方々にも関わっていただきながら進めていきたいと考えています。

(山内委員) 予算の使い方についてですが、私も音楽家としてイベントを主催することがあるのでイベント開催に際してお金がかかることは理解していますが、先ほどの子ども食堂の取組みなどに使えると次の活動につながるという意味ではより効果的なお金の使い方なのではないかなと思います。もちろんイベントにお金をかけるということも大切なことですが、今後の活動につながる

いう視点でのお金の使い方も大切ではないかと思えます。

(町長) コミュニティ・スクールについては私としても教育委員会と情報を共有させていただきたいと思えます。教育委員会では9月にはコミュニティ・スクールの先進地である三鷹市へ視察に行く予定もあるようですが、まずは教育委員会の方で視察に行つて情報収集をしてきていただきたいです。町議会でも別に視察の予定があるようなので、できればその機会に私も視察に同行したいと考えています。また県内では開成町でも先進的に取組まれているようなので勉強していきたいと考えています。

それではついでに議題3の文化・芸術の振興、ラディアンの活用のあり方について、に移りたいと思えます。まずは事務局の方から説明をお願いします。

ー 生涯学習課長より、資料2に基づいて説明。 ー

(町長) 事務局からラディアンの利用状況について説明がありましたが、委員のみなさんから何かご意見はございますか。

(山内委員) 資料中の町の利用率と全国の利用率の考え方についてですが、例えばホールをイベントなどで利用する団体が準備で前日に使用することもあると思うのですが、利用団体の数ではなく、場所の使用状況という考え方によろしいでしょうか。また町と全国の数字の算出の考え方は同じですか。

(三浦課長) 同じ考え方です。

(蓮實委員) 私もこの資料でラディアンの利用状況をはじめて理解しましたが、興味深いです。私も町長が言われているように、若干ですが毎年利用率が減っていることが気になります。本来であれば、良いピアノがあったり、音響施設が整っていることを考えれば、このようなことが触れ込みになり、利用率が上がっていてももらいたいところですが、全体的に横並び状態です。利用率が増えていく展望はあるのでしょうか。

(町長) ラディアン規模の施設は近隣にはあまりないので、稼働率が極端に低下していくことはないのではないかと思えます。また規模は違いますが平塚市民センターのホールが使えなくなったので、その影響もでてくるかもしれません。

(山内委員) 私はラディアンをホール以外にもよく利用させていただいているのですが、ホールについては、利用率71.7%ということですが、これはとても良く利用されていると思います。またスタインウェイという有名なピアノを置くことで様々な音楽イベントも盛んに開催されています。ホールは500人収容できますが、例えばそれほどの収容人数は必要ない場合などはミーティングルームを2部屋おさえて講演会を開いたり、様々な方に使い勝手の良い施設として利用されているのではないかと思います。

(町長) ラディアンは使い勝手の良い施設だという声は良く耳にします。今後は施設のメンテナンスということも視野に入れて施設や設備が壊れないよう、整備していきたいと考えています。

(原委員) 今後はスペースの使い方の検討もしていけば良いと思います。例えば展示ギャラリーは物を展示するだけの利用ではなく、フラワーアレンジメントなど展示する物をつくることに参加ができるような使い方ができるのではないかと思います。またミーティングルームは椅子だけであれば70席ぐらいは設置できると思いますが、もう少し座席数が欲しいなという時はモールスペースをパーティションなどで区切って利用するなどの使い方が検討できるのではないかと思います。通路は確保しなければならないので、モールを会議室代わりに利用できるのは、利用者が比較的少ない夜間だけにするなど、様々な柔軟な提案ができるとラディアンの活用の幅が広がるのではないかと思います。

(町長) 原委員が言われたように今後は施設の柔軟な使い方という視点を持つことは重要なことだと思います。また、同じ施設に図書館の機能もあるため、その機能が損なわれないように配慮したり防災上の視点を持つことも併せて考えていかなければなりません。一方で今後は公共施設の再配置ということを進めていかなければなりません。今ある施設を新しくすることは難しいため、ラディアンの使い勝手を良くし、他の施設の受け皿としての活用も検討しなければなりません。今はホールの舞台のみを割引料金で使用できるようにしていますが、そのような使い方ができることも宣伝していかなければならないと思います。地域再生協議会でも詳しくは決まっていらないのですが、今後シンポジウムやイベントなどでラディアンを活用していきたいというお話しをいただいています。機会があれば今ご提案いただいた利用方法などを提案していきたいと考えています。是非、みなさんからも斬新なアイデアがあればご提案いただき、町としても積極的に検討していきたいと思っています。

(蓮實委員) 以前、二宮西中学校の秋麗祭の合唱をラディアンで開催したことがあったのですが、その時は生徒さんたちがあのような設備が充実したところでやれることにとても喜んでいたのを覚えています。学校がラディアンを利用する場合は有料なのでしょうか。

(町長) その時は鑑賞される方の入場料は無料だったと思いますが、学校でも使用料は負担をさせていただいています。

(蓮實委員) わかりました。あと、利用時間についてですが、9-12 時、13-17 時、18-22 時となっていますが、利用者によっては長時間使わないという場合もあると思いますが、もう少し細かく時間を区切って利用料を安くすることはできるのでしょうか。

(三浦課長) 各団体の利用状況まで詳しく把握していないので、確認します。

(山内委員) 私や周辺の方の印象だと、例えばホールであれば照明や音響の準備があることから、次の時間帯の利用者に引き渡すことを考えると午前、午後、夜間とそれぞれの間に 1 時間の空白があることが大切です。

(原委員) 今後、このような話題を取り上げることがあれば、例えば料金体系がわかる資料やフロア図などが手元にあるとアイデアが出やすいのかなと思います。

(町長) 利用案内やフロア図などは既にできているものがあるのでお渡ししたいと思います。また、この話も今回で終わりにするのではなく、公共施設の再配置にも関連する内容です。ラディアンは町の様々な活動拠点となる施設であるため、利用方法や稼働率、運営の話など幅広くみなさんと意見交換をしたいと思いますと考えています。

(山内委員) この議題は私が希望をして取り上げていただいたものですが、その時には二宮町の文化・芸術については話をするというでラディアンの活用についてはその中の一つという捉え方でした。今後もハード・ソフト両面について広く施設の使い方についてみなさんと意見交換をしたいと思います。ラディアンについては、音響やピアノなどの設備も良く、大きさもちょうど良いと思います。また駅からの距離も近く、駐車場も完備されており、町外近隣の方々からの評価もとても高い施設です。図書館としての機能やパソコンコーナ

一があるなど複合的な機能を有している場所です。そのような場所でどのような活動をすれば子どもが健全に育っていくのか、あるいは大人が幸せな生活を送っていけるのか、ということをおみなさんと考えていきたいと思っています。例えば東京都豊島区では80周年を迎えた際に池袋にある東京芸術劇場という場所で区民の子ども達が参加したオペラを上演しました。二宮町で昨年の80周年記念の際に、町民主導で記念合唱団を作ろうという素晴らしいアイデアがありました。このように自然と文化・芸術についての素晴らしいアイデアがどんどんでくる町になってほしいなと願っています。町外から素晴らしい方々を招いて素晴らしい芸術に触れることも魅力的ですが、この町の主役は町民の方々なので日頃から文化・芸術に触れられるような環境づくりをしていくことが住んでいる方々の幸せにも繋がることになると思いますし、町外に向けての町の魅力発信にも繋がるのではないかと考えます。午前中の教育委員会議の中で生涯学習課の事業報告に子ども向けの夏休みのイベントでふたみ記念館にてボランティアの方の協力で絵を描くイベントの報告がありました。定員15名いっぱいの方がいたようですが、とても良いことだと思いました。このような機会が増え、町民の方が日常生活の中でスポーツも含め文化・芸術に触れられる・参加できる機会が増えれば良いなと思います。

(町長) 私自身も子どもが小さい時に子どもにも本物の文化・芸術に触れさせたいという思いで、そのような機会を作っていました。特に子どもは感受性が強い小さい頃に本物の芸術に触れる機会を作ることは大切なことだと思います。二宮の小学校でも芸術鑑賞会を毎年、開催していますが、段々と規模が縮小しているということも聞いています。現状のレベルのものを開催していくためには、行政の方だけで費用負担をすることと一方で受益者負担という考え方も検討していかなければならないと思います。ただ、学校で芸術鑑賞の機会を最低1回つくることは続けていっていただきたいと思いません。

(原委員) 来年度のはぐくみ塾で音楽に関する内容を取り上げたいと考えています。内容は学校の先生方の音楽指導に関係することを中心に置きつつも、一般の参加者向けの内容も盛り込んでいきたいと考えています。またこのような機会を積み重ねていけば、そこから広がっていくものもあるのかなと思います。またそのような広がりを町としても支援していくような仕組みがあれば良いと思います。先程、山内委員が言われたふたみ記念館で絵を描くイベントがあったように、参加型のイベントを多くしていく必要があるのではないかと思います。

(教育長) 昭和53年に二宮町町民憲章が制定されました。その中に「教養を高め、文

化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう」という一文があります。例えば地域再生事業の特別イベントとして、子ども、保護者、地域の方による合唱団を組織しては良いのではないかと思います。場所は学校の体育館を使って、年何回か集まって練習をする、そして発表をする。いずれ他の地区にも波及させていけば良いと思います。町の財政難はわかっていることなので、お金をかけず文化の力で町を豊かにしていくという視点をもつことは大切なことだと思います。今後のコミュニティ・スクールの中でも取組んでいきたいと思っています。

(山内委員) コミュニティ・スクールでの取組みは良いアイデアだと思います。学校だけではなく、例えばラヂアンを活動場所として貸出すということが町として活動を後押しすることの一つだと思いますし、ラヂアンの活用にも繋がっていくことだと思います。先程、本物に触れるということが大切なことだ、という意見がありましたが、さらに自分自身がやってみること、そのことを通じて自分自身やご家族の方が成長を実感できることが幸せに繋がるのではないかと思います。唄うことはあまり得意ではないが楽器はやってみたいという方やスポーツをやってみたいという方など様々な方がいるため、多様なニーズに対応できる環境づくりをしていくことが大切なことだと思います。

(原委員) 川崎市には「ミューザ川崎シンフォニーホール」という場所があり、「音楽のまち・かわさき」というキャッチフレーズがあります。二宮町にもそういうキャッチフレーズがあれば良いなと思います。文化・芸術といっても多種多様ですが、唄は比較的金をかけずに取組めるものでとても楽しいものなので、きっかけとしてそこから取組んで、二宮町にも川崎市のようなキャッチフレーズができれば良いなと思います。

(町長) なるべくお金をかけないという意味では確かに合唱は取組みやすいものなのかなと思います。文化・芸術の振興を、という意味では参加型ということがキーワードになるのだと思います。町としては活動できる場所を維持し、提供できることがまず基本的なことだと思います。ラヂアンも築20年が経とうとしていますが、ますます修繕等の対応が必要な箇所がでてくると予想され、施設を運営していくためには、さらに財政的な負担が増えることが予想されますが、町としてもしっかりと対応をしていきたいと考えています。また先程、山内委員からふたみ記念館で絵描きイベントがボランティアの方々の協力のもと開催され盛況だったという話がありましたが、ソフト面でも町として町民の方々に参加していただけるイベントを企画し増やしていきたいと思っています。

(蓮實委員) ラヂアンに限らずですが、従来、町が主催・運営してきたものが町民や団体の自主運営に切り替わってきているものがあると思います。財政難などが主な理由かと思いますが、町が主催あるいは運営をすることで広く門戸が開かれ

安心して参加できる、そして様々な才能が育ち町全体の底上げにつながるという側面もあると思います。すべてを行政がやるということは難しいにしてもとっかかりは行政がつくり方向性を示す、その後は自主運営の部分に任せるなどする必要があるのかなと思います。町長の考えを教えてください。

(町長) 町には自主運営の音楽団体も沢山あります。そのような団体のいくつかの発表会に呼ばれて行ったことがあるのですが、観客も集まるのか心配でしたが行ってみたら、満員で大盛況だったということもありました。今の二宮町には様々な団体があり、様々なニーズに対応していけるのではないかと思います。ただ、何かをやりたいと思っている方々にうまく情報が伝わっていないところがあるように感じます。そのような部分は例えば町民活動サポートセンターで活動団体の紹介をするなどして必要な方に情報が提供できるようにしていきたいです。また活動場所という点では、特定の団体が場所を抑えてしまい、他の団体が使いたくても使えないという状況があれば改善していかなければならないと考えています。にのみや町民大学というものがありますが事業はノウハウを持った職員ではない方が企画をしています。私自身は次々と興味深い内容のものがでてくると感じています。場所の提供についても、例えば防災コミュニティーセンターを開放したりなどすれば、まだ広く使われていないところの利用にもつながりますし、予約や利用の方法など公共施設でも統一されていないので、利用しやすいものにするなど検討を進めているところです。

(蓮實委員) ありがとうございます。何かやりたくてもやれない、やりにくいという状況の方々もいると思います。行政としては、そのような方々に目を向けていくことが大切なことだと思いますので、そのような施策を考え、実行していただきたいと期待しています。

(三浦課長) 活動団体の紹介という意味では生涯学習課の方で冊子を作成しています。また町のホームページでも紹介をしています。

(町長) 冊子については、色々な公共施設に置いて町民の方に見ていただきやすい状況にしたいと思います。

(山内委員) 町民大学も最初は町主催の事業であったと思います。それが町ではない方が企画をするようになったということですが、他の町主催のものから自主事業になった際に当初の町の方針というものが正しく引き継がれるのか、引き継いだ側が負担になってしまわないかということがあると思いますが、町としても予算的なものであったり、場所の提供だったりとすることでサポートをしていただくことは必要なことなのかなと思

います。

(町長) 町が提供するのはいまはきっかけづくりであるべきなのかなと思います。そうすることで幅広いニーズのものを提供できると思います。町民大学でも受講者どうしでグループをつくり自主的に活動をされている方々もいます。健康づくりの講座などでも同じことがいえると思います。ただその後に町はまったく関与をしないというわけではなく、活動場所の提供や必要な情報の提供などでサポートをしていく形が良いのではないかと思います。その他ということで事務局から何かございますか。

(黒石課長) 次回、2月の総合会議の予定ですがコミュニティ・スクールの進捗状況、にのみや子どもはぐくみ塾の活動状況の報告をさせていただきたいと思います。子どもの安心安全については、学校の取組み状況について報告をさせていただきます。最後に学校の将来ということで統廃合の方針について取組みの状況にもよりますが予定しております。委員のみなさまからも取り上げたいテーマがありましたら、教えていただければと思います。また併せて来年度のテーマについても考えていきたいと思います。

(町長) 委員のみなさまからも取り上げたいテーマがございましたら、早目に教えていただければと思います。それでは第2回総合教育会議を終了したいと思います。ありがとうございました。

15 : 15 閉会